

科目番号	FA205			
科目名	木造建築・木材コーディネート			
担当教員	酒井 宏一(やなみ建築設計事務所代表)			
科目区分	林産	人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年	授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
単位数	2			
授業時間数	15 コマ (30 単位時間)			
実務経験のある教員による授業科目	○	左の実務経験の内容	木造建築設計業経営者	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容	木造建築の設計や木材利用の企画提案など幅広い実績をもとに、木造住宅と木材利用の現状と課題を学ぶ。			

目的	木材利用の中心となる木造住宅の基礎的知識を習得するとともに、建築分野等需用者が求める木材、木材製品とは何かを学ぶ。
概要	木造住宅の部材、構造、特徴、法規制等の基礎知識を学び、建築現場等で木造建築の事例調査を行う。立木及び木材の品質や評価方法を学び、その用途や供給方法を考察する。
キーワード	①木造建築の部材と工法 ②法令規則 ③建築の実際 ④木材コーディネートに必要な技術解説
関連する科目	木材物理学、木材加工学
到達目標	<input type="checkbox"/> 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得 <input checked="" type="checkbox"/> 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得 <input type="checkbox"/> 多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	筆記試験100%

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	木造住宅の基礎	(1) 木造住宅の特徴 (2) 住宅部材の特徴、構造材、造作材の樹種特性
3～4	木造住宅の工法	(1) 木造住宅の工法 (2) 木造住宅の耐震性、求められる性能
5～6	木造住宅の見学	建築中の木造住宅の見学 (※学校周辺に該当建築物がない場合は、構造モデルを使って木造住宅の構造を解説する)
7～8	木造住宅の法規制と、これからの木造建築	(1) 性能規定と仕様規定、建築基準法及び関係法令 (2) 新たな建築材料と木造建築のこれから (3) 販売戦略の事例
9～10	木材コーディネートの必要性	木材コーディネートとは
11～12	木材コーディネートの基礎知識	(1) 木材の各流通段階での品質基準と格付け (2) 木材の各流通段階での材積計算 (3) 木材の性能表示 (4) 木製品の価格と品質評価
13～14	木材コーディネートの実習	(1) 木材コーディネートの事例 (2) 実習
15	試験	

テキスト	資料を配付します。
参考書	図解よくわかる最新木材のきほんと用途(赤堀楠雄、秀和システム、2009)

関連する資格	
備考	